

奈良県感染症情報

平成 26 年 第 34 週(8 月 18 日～ 8 月 24 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

■ 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たりの患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	1.94	(1.59)	↗	↘	↑	↑
2	咽頭結膜熱	0.62	(0.79)	→	→	→	→
3	ヘルパンギーナ	0.59	(1.00)	↓	↓	↓	↓
4	A群溶連菌咽頭炎	0.35	(0.53)	↓	↓	↓	→
5	水痘	0.29	(0.50)	↓	↓	↑↑	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの変化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、A群溶連菌咽頭炎の流行は、地域差はありますが減少傾向です。特に、ヘルパンギーナの報告数は最も多かった7月中旬の1割程になっています。

～戦後初のデング熱患者国内発生！！～

- デング熱は、東南アジア等で流行しているウイルス疾患です。患者を吸血した蚊が他者を吸血することでウイルスが広がります。奈良県でも東南アジア等から帰国した人のデング熱感染者は毎年報告されています。今般、埼玉県在住の10歳代後半女性のデング熱感染が報告されました。この人は、渡航歴が無いため、国内で感染(海外で感染して帰国した人からの蚊を介しての二次感染)と考えられています。
- 予防・感染拡大防止のために、蚊に刺されないことが重要です。流行地域から帰国した人は、発熱などの症状が見られたら、蚊に刺されないように注意し、医療機関を受診してください。また、流行地域への渡航時は、長袖、長ズボンの着用や虫よけ剤を使用するなど工夫が必要です。



<参考>厚生労働省 HP デングウイルスについて

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/dengue_fever.html

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(矢追医院)

外来患者数はさらに減少している。お盆休みのため、感染症自体が殆どない状態です。目立ったものはなく、夏風邪が少しあるのみです。

中部地区(岡本内科こどもクリニック)

外来数は少ない。軽度の感冒がある程度。
アデノウイルス陽性例が僅かにある。ヘルパンギーナは少ない。
エンテロウイルスかと思われる軽症経過の感染性胃腸炎が僅かに流行。
その他感染症は少ない。

南部地区(県立五條病院小児科)

夏カゼは減少。帰省や夏の疲れによる普通感冒がみられるのみ。
水様下痢、嘔吐の家族がキャンプ地から受診するも、軽症で菌も検出しなかった。

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 26 年 第 34 週 8 月 18 日 ~ 24 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	桜井	葛城	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	55	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ								
小児科定点数	35	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	1 (0.03)	1 (0.14)						
咽頭結膜熱	21 (0.62)	3 (0.43)	4 (0.40)	1 (0.14)	12 (1.71)		1 (0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	12 (0.35)	7 (1.00)		1 (0.14)	2 (0.29)		2 (1.00)	
感染性胃腸炎	66 (1.94)	4 (0.57)	13 (1.30)	7 (1.00)	38 (5.43)	2 (2.00)	2 (1.00)	
水痘	10 (0.29)	5 (0.71)	2 (0.20)	1 (0.14)	2 (0.29)			
手足口病	4 (0.12)	1 (0.14)		2 (0.29)	1 (0.14)			
伝染性紅斑								
突発性発しん	4 (0.12)	1 (0.14)		2 (0.29)	1 (0.14)			
百日咳								
ヘルパンギーナ	20 (0.59)	7 (1.00)	2 (0.20)	7 (1.00)	3 (0.43)	1 (1.00)		
流行性耳下腺炎	9 (0.26)			2 (0.29)	6 (0.86)	1 (1.00)		
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎								
流行性角結膜炎	6 (0.67)	2 (2.00)	3 (1.00)	1 (0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎								
無菌性髄膜炎								
マイコプラズマ肺炎								
クラミジア肺炎								
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)								

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核4件(奈良2件、葛城1件、郡山1件)
3類感染症	
4類感染症	
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症1件(桜井1) アメーバ赤痢1件(葛城1)

❖ 第34週のトピックス ❖

デング熱について(厚生労働省)

http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/dengue_fever.html

デングウイルス感染症情報(国立感染症研究所ウイルス第一部 第2室)

<http://www0.nih.go.jp/vir1/NVL/dengue.htm>

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男																						5966
	女																						5983
RSウイルス感染症	男			1																		1	135
	女																						120
咽頭結膜熱	男		1	2	1	3	4	1														12	391
	女				3	1	2	2				1										9	321
A群溶連菌咽頭炎	男				2				1													6	640
	女			1		1	1				1	1	1									6	577
感染性胃腸炎	男		1	5	10	3	1			5	1	1	5		5							37	2886
	女		4	2	3	1	1	2				2	5	3	6							29	2683
水痘	男				1	2			2	1												6	504
	女					2				1												4	445
手足口病	男			2																		2	72
	女		1	1																		2	56
伝染性紅斑	男																						34
	女																						36
突発性発しん	男																					1	199
	女		1	2	1																	3	159
百日咳	男																						1
	女																						
ヘルパンギーナ	男			3	5	2	1	2		1												14	631
	女			2	1	1	1	1														6	570
流行性耳下腺炎	男				1	2	1	2														6	72
	女						3															3	62
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男														1	1	1	1				2	56
	女																		2			4	72
細菌性髄膜炎	男																						4
	女																						1
無菌性髄膜炎	男																						5
	女																						1
マイコプラズマ肺炎	男																						3
	女																						3
クラミジア肺炎	男																						
	女																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																						18
	女																						18

❖注目疾患の動向❖ 全て定点当たり報告数

■ H26 ▲ H25 □ H24 〻 過去10年平均

